

# 公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

## 研修報告書 (2018年度 助成者)

作成日 2018年 8月 23日

氏名 (フリガナ)	西谷恒星 (ニシタニコウセイ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2018年8月13日 (月) ~ 8月18日 (土)
大学名	奈良県立医科大学
学年	5年

今回の研修に参加した理由は、将来グローバルな視点を持って働きたいと思っていたからです。結果的には、英語の勉強以外に、アメリカの医療制度や実際に働いている人のキャリアパスなど普段はあまり知ることができない内容が多く、自分の目的を満たせる素晴らしいプログラムでした。

本研修は主に、医療倫理、医療面接やケースプレゼンテーションの練習、ハワイにある病院、大学の見学などから構成されています。この研修に参加してみて、他の学生達の英語のレベルの高さ、医学知識の多さ、意識の高さに圧倒されました。今までそんなに勉強をしてこなかった私とは違い、他大学の医学部生にはこんなにレベルの高い人が多くいるのかと刺激を受けました。こうした他の学生達との触れ合いはとても良い機会となりました。ほとんど自由時間がなく、観光はあまりできないよう過密なスケジュールではありましたが、それだけ頑張った価値はあったと思います。

まず、医療倫理に関しては、学生同士、英語で討論するのですが、それぞれ目の付け方が違って面白かったです。私は今まで英語で討論するという経験がほとんどなかったので、とても良い機会でした。最終日には討論の結論を班ごとに発表するのですが、その準備は意外に楽しく、雑談も交えつつかなり盛り上がりました。この時の班員とは特に仲良くなれたと思います。他の大学の学生とコネクションができるという側面もあり、とても良いクラスでした。

次に、この研修のメインである症例報告の講義、練習では実践的な練習ができてとても為になりました。特に、毎晩ハワイ大学の学生、小林先生をはじめとした教員の方々の協力のもと行われるケースプレゼンテーションの練習はかなりの経験値を得られたと思います。まず、ハワイ大学の学生が患者役をして私達日本人の学生が問診を取ります。日本語でもあまり問診を取る機会は多くないのに、英語で行うというというのはハードルが高いと思っていました。ただ、練習を重ねる内に必要な情報を聞けるようになっていって達成感を得られました。また、ハワイ大学の学生はとても協力的で、時々した雑談も面白かったです。その後すぐに聞き出した情報をまとめ、先生に実際にケースプレゼンテーションするのですが、先生方が熱心に指導してくださり日に日に成長して行くのが自分でもわかりました。最終日にはあまり駄目出しされないくらい上達でき、自信に繋がりました。

また、海外の病院やハワイ大学の見学等、日本ではできない経験をたくさんできました。ハワイ大学の学生は日本の医大生と比べて遥かに実践的な授業を受けており、かなりの時間を勉強に費やしているらしいです。ハワイ大学の学生の話や、他大学の日本人学生の話を知ると自分が如何に狭い世界で生きてきたかを痛感しました。全体を通してこれからのモチベーションに繋がる良い実習であったと思います。

参加者はかなり英語のレベルが高い人が多かったです。でも、あまり英語に自信のない自分でもかなり成長でき、とても刺激を受けました。後輩達で、英語に自信がない人がいたとしても、大変かもしれませんが相応の対価があるので是非参加するべきだと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会を設けてくださったハワイ東海インターナショナルカレッジのスタッフの皆様、および様々な援助をしてくださった公益財団法人日米医学医療交流財団に深く感謝するとともに、このプログラムの更なる発展を願っております。本当にありがとうございました。